

【緑地の樹】

カシワ(柏)

プロフィール:ブナ科の落葉中高木

雑木林から中央広場に入るところにあります。

カシワの樹は、昔は武士の家によく植えられたそうです。それは、同じブナ科の落葉樹の中では、コナラやクヌギのように枯れ葉が落ちず、冬の間ずっと樹についているからとか。春になって新しい葉がでてくると古い葉が落ちるので、家が絶えないという験担ぎなのでしょう。

でも私は、カシワの樹は実をあまり見ることがないような気がします、あくまで個人的な感想ですが。いくら枯れ葉が落ちないと言っても、実が成らなくちゃしょうがないじゃない？と突っ込みを入れたいくなります。



カシワのドングリ



花は地味です

緑地には中央広場にたった一本だけ、小さいカシワの木があります。多分、お隣の農家さんの樹からドングリをいただいて植えたのでしょう。数年前にたった一つだけ、実が成りました！けむくじやらのコートをもったかわいいどんぐりです。でも、その後は実を見ていません。

でも、いつも青々とした立派な葉っぱをつけています。来年は緑地産の柏餅を楽しめるでしょうか。

(小川)